

議会報告

かたの民報 No.1701
2018年12月発行

交野市役所 共産党控室
私部 1-1-1 ☎ 892-0121 (内線 301)



中上 さち子 ☎893-6785



さらがいふみ ☎894-2835

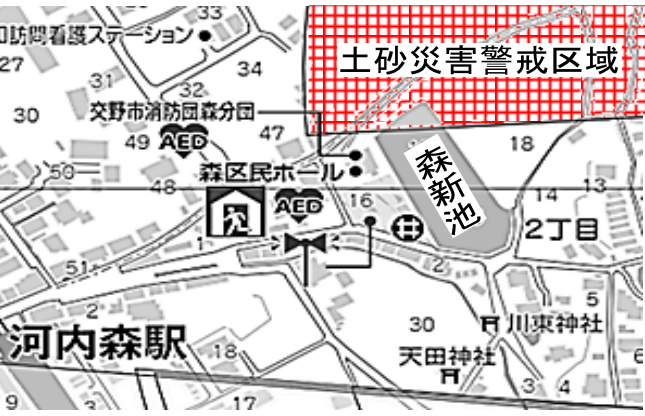


藤田 まり ☎397-3027

公立あまたのみや幼児園の移転予定地は 土砂災害警戒区域!!

交野市は、平成32年4月から公立あまたのみや幼児園の民営化を実施する計画をすすめています。また、今の園舎の移転建て替え予定地を森南にある森新池としています。しかし、この地域は大阪府が注意喚起している「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」にかかっています。

市長は、選挙公約や所信表明で「安心安全なまちづくり」を訴えています。危険だと指摘されている場所に、あえて幼児園を持つてくるというのは矛盾していません。



※地図中の森新池が移転予定地

日本共産党は、スケジュールありきで進めるのではなく、子どもの命を最優先に、移転予定地の計画を変更するよう強く求めました。

交野市は、命に責任を！ 日本共産党は予定地の変更を求める

市は、あまたのみや幼児園の移転予定地を森新池とした理由として、「既存の園から近く、環境の変化を最低限に抑えられる」「森新池は市の土地であり、借地料の削減ができる」などをあげています。

しかし、土砂災害や活断層など、安全性についての視点が抜け落ちていたり、大きな問題です。

日本中で大規模災害が相次ぐ昨今、市民の命を守るため、想定外を想定した計画にすることは行政としての責任です。

「安全性」の視点が抜け落ちた計画は大問題！



日本共産党一般質問 狭い敷地などメリットない「小中一貫校」の見直し求める

学校配置について、市から意見を求められた学校教育審議会は、第1中学校区（交野小・長宝寺小・1中）について「交野小と旧給食センター敷地で小中一貫校を設置」とし、又、「小中別々のグラウンドやプールは確保すべき」との審議会意見だが市はどう考えているのか。また、交野小と旧給食センターを併せた敷地内で、別々の確保は可能なのか。（資料①②）

【質問】一貫校設置に、「小中別々のグラウンドやプールは確保すべき」との審議会意見だが市はどう考えているのか。また、交野小と旧給食センターを併せた敷地内で、別々の確保は可能なのか。（資料①②）

【答弁】学校教育上必要な機能の確保については十分検討を重ねた。【意見】各々確保すれば、校舎や体育館の用地確保は難しい。敷地が狭くなるなど現行より教育環境は良くなる。一貫校設置にメリットは見られない。

【質問】また、2校廃校に伴う「防災機能の確保」

資料① 第一中校区の敷地面積

	敷地面積(m ²)	グラウンド(m ²)	
		プール(m ²)	
交野小学校	21,243	11,661	790
長宝寺小学校	20,772	9,913	973
第一中学校	16,707	11,362	783

資料② 「一貫校」設置場所の敷地面積

	敷地面積(m ²)
交野小学校	21,243
旧第1・2給食センター	1,974
計	23,217

が必要」との意見も付けられたが。

【答弁】避難所機能の確保は、危機管理部局等と協議・調整を進めていく必要がある。

【意見】学校は地域の防災拠点でもある。地元説明会は開かれておらず、一貫校ありきで市が統廃合を進めるのは問題、見直しを求める。

※他市の「小中一貫校」の実施校の報告では、1～9年生の大所帯で問題は山積。「小学生が中学生に比べる」「中学生の思春期（自分壊し）の成長妨げに繋がる」等。

青年の家 — 改修・バリアフリー化して存続を！

市役所の移転・建替え・青年の家の廃止・統合案

市は市役所を移転・建替え、青年の家の建物を廃止し新市役所に統合する計画です。

市は来年2月頃には、市役所の移転場所や機能なども含めた「庁舎整備基本構想」の骨子案を示し、6月ごろ計画を決定する予定です。

青年の家は、市民の文化活動の拠点です。日本共産党は、青年の家は駅から近い利便性を生かし、現施設を改修・バリアフリー化して継続することを基本に、今後のあり方を市民とともに十分議論すべきと考えます。



学校トイレの洋式化すむ！

日本共産党も要望してきた学校トイレの洋式化工事が平成28～29年度に進められ、洋式の割合は56%になりました。

